



ボラン・て

5月

「ボラン・て」の「て」は、つなぎあう人と人の「手」。手を借りたり、貸したりするためのボランティア情報をイメージして名づけました。

災害に備える

～地域活動から取り組む災害支援～



杉並区社会福祉協議会
地域福祉活動費助成金事業
歳末たすけあい運動募金をもとに実施しています。



「杉並災害ボランティアの会」は、発災時に杉並区災害ボランティアセンターの運営をサポートするため、災害支援に関わるボランティア活動やネットワーク作りを行っています。

【特集】 杉並災害ボランティアの会

代表

ただ 多田

くにあき 邦晃さん

(写真後列中央)

副代表

やましろ 山城

たかもり 隆盛さん

(写真後列左)

はたの 秦野

ひろのり 博則さん

(写真後列右)

くどう 工藤

たくし 拓志さん

(写真前列左)

こんの 今野

くみこ 公美子さん

(写真前列右)

3面・・・チャレンジ！ボランティア ご案内
使用済み切手の報告

4面・・・令和5年度地域福祉活動費助成金 団体決定

この情報紙は、区内のボランティアの方々に、
宛名シール貼り、封入作業を行っていただき、発行しています。
いつもご協力ありがとうございます。

【特集企画】 災害に備える

～地域活動から取り組む災害支援～

「杉並災害ボランティアの会」(以下「SSV」)は、杉並区社会福祉協議会(以下「社協」)が開催する「災害ボランティアセンター運営スタッフ養成講座」の修了生や、SSVの趣旨に賛同したメンバーからなる任意団体です。杉並区で災害が発生した際に社協が設置する杉並区災害ボランティアセンター(以下「災害VC」)の運営への協力・支援を目的としています。日頃から会員同士のネットワーク作りを目指し、各種研修や勉強会、訓練に参加しながら、災害支援に関わるボランティア活動を行っています。

活動のきっかけと主な活動内容

東日本大震災をきっかけにはじまった「災害VC運営スタッフ養成講座」の修了生が有志で集まり、2015年からSSVの活動が始まりました。

SSVは、発災時に社協が設置する災害VCの立ち上げやボランティア希望者の受け入れの他、被災者の困りごとのマッチング等を社協職員と一緒にスタッフの一員として行います。また、被災地での支援活動や、社協とともに災害VCの運営訓練、勉強会、防災の目線で居住地域を歩く「防災まちあるき」等、有事に備え活動を行っています。なお、福島県南相馬市では仮設住宅の支援活動をきっかけに、10年以上経過した現在も有志で毎年のように訪問し、住民と交流を続けています。

これからも多くの人に意識をもってもらう取り組みを、SSVでは行っていきます。



▲被災地での支援活動(千葉県館山市)2019年

防災に大切な「つながり」「支えあい」

防災は備蓄など物に対する備えも大事ですが、人のつながりも大切になってきます。例えば、被災地へ訪問して出来たつながりにより、被災者が経験してきたことを、自分の地域に活かすことができます。また、自分の居住地が被災した時には、被災を経験した地域の方々が支援にかけつけてくれることもあります。

災害時には一人の力では復興できず、それぞれの出来ること、得意なことを活かした総合力が必要になります。日々の支えあいが、災害などの大きなピンチの時に役立つと思います。

災害VCについては、杉並ボランティアセンターHP参照：<https://www.borasen.jp>

関東大震災から今年で100年。【特集企画】災害に備える～地域活動から取り組む災害支援～では、災害に対する取り組みや工夫をしている団体をご紹介します。読者が災害に備えるヒントとしていただきたいと思います。今回は「杉並災害ボランティアの会」代表・多田邦晃さんにお話をうかがいました。また、副代表の山城隆盛さん、役員の秦野博則さん、今野公美子さん、工藤拓志さんからも活動に対する想いを話していただきました。

私たちに今、できること

「今、地震が起きたら」「洪水が起きたら…」と電車の中や会社、エレベーターの中にいるとき等に想像し、シミュレーションしてみることも大切です。また、区内でも総合震災訓練や震災救済所の訓練、区民センターのイベント、防災まちあるき等、様々な取り組みが行われています。まずは何かに参加してみることが、地域で行う防災の一步になります。

隣近所とのつながりはもちろん、SNS(※)等を利用して離れた場所の人ともつながれる現代では、家族・親戚以外にもつながりを作っておくと、お互いを心配したり助け合いにつながっていきます。

(※)フェイスブック等のインターネット上で個人がつながれるサービス



▲災害VC立ち上げ・運営訓練(左)と杉並区総合震災訓練(右)の様子

読者の皆さんへ

災害ボランティアは泥出しやがれきの撤去等の力仕事をするイメージが強いですが、炊き出し等の生活支援、足湯や子どもたちへの読み聞かせといった交流支援もあり、まちの復興状況や被災者の生活状況によって、支援内容も変化していきます。また、被災直後だけでなく、心のケア等は長期にわたって必要となってきます。復興の過程においても、継続して寄り添い続けていくことが必要です。

災害は誰にでも降りかかってくるものなので、関心を持ち、自分のこととして考えてほしいです。また、誰にでも関係があるからこそ、共感しやすい面があります。近隣や会社の人等、老若男女を問わず、災害や防災について共に考え意見交換することで、地域でのつながりが生まれます。その「つながり」が孤立等、地域の困りごとの解決になる事もあるのです。

交流会を伝える▶
新聞記事(福島民友)



杉並災害ボランティアの会

HP：<https://ss-volunteer-no-kai.jimdofree.com>

フェイスブック：<https://ja-jp.facebook.com/ssv.kai>

募集!

地域とつながろう講座 ～チャレンジ! ボランティア～ 「集いの場からはじめる地域デビュー」

地域住民が気軽に集まれる集いの場(居場所)。「居場所って何だろう」「どうして地域に居場所が必要なのか」「自分ができる居場所づくりは?」実際に居場所を立ち上げ、運営をしている方からお話を聞いたり、活動のための講座を開催します。

時間があるので何ができるか一緒に考えたい、趣味や特技を生かして地域の役に立ちたい、など地域活動に興味があり、2回とも参加できる方を募集いたします。

日時 令和5年6月 8日(木)14:00～16:00

令和5年6月22日(木)14:00～16:00

会場 ウェルファーム杉並 2階 会議室1・2
(天沼3-19-16)

内容 1日目:居場所・集いの場づくりについての講座

活動者からのお話し

講師:世田谷地域デビューの会 真貝高三 氏

2日目:活動紹介・説明

講師:杉並区社会福祉協議会職員 ほか

対象 区内在住、在学、在勤の方
左記2日間共に参加できる方

定員 15名程度 ※申込多数の場合は抽選

申込 杉並ボランティアセンター
TEL:03-5347-3939
✉:info@borasen.jp
📄:https://forms.gle/5NSEe8AN5dvGLXHs7
電話、E-mail、または申込フォームにて。

氏名(フリガナ)、
住所、電話番号、
E-mail、年齢、
志望動機を記入し5/31まで



ご報告



使用済み切手

令和4年度(4月1日～3月31日)に区民の皆さま、団体や関係機関から使用済み切手のご寄附をいただきました。

ご協力ありがとうございました。

また、ご寄附いただいた使用済み切手は、切手整理ボランティアの方々に整理していただいています。

寄付件数:のべ約 264件(個人・団体含む)

収益金:55,100円

切手整理ボランティア参加者数:のべ100人

収益金は地域福祉のために活用します。
引き続き、切手回収のご協力をお願いいたします。



◀ 使用済み切手

購入した方が
作成した切手アート
(ウェルファーム杉並
4階交流スペースに
展示中)



活動中の切手整理ボランティアの皆さん
(毎月第3水曜 14:00～16:00に活動)

ようこそ!

きずなサロン Vol.2

井草地区

◆きずなサロン

カフェはなかいどう

- ・活動場所:下井草二丁目
(詳細はお問合せください)
- ・活動日時:毎月第4火曜日10:00～12:00
- ・活動内容:暮らしに役立つ情報や楽しい企画をご用意しています。お気軽にどうぞ!
- ・協力金:100～200円



★「きずなサロン」は地域の方々がふれあい、交流する場です。世代を問わずみんなで集まり、支え合える関係ができることが期待されています。

きずなサロンについては、杉並区社会福祉協議会 地域支援課 地域福祉推進係へお問い合わせください。 TEL:03-5347-1017
ホームページ
https://sugisyakyo.com/suishin/kizuna.html

ボランティア募集中!
長寿応援ポイント対象です



令和5年度

地域福祉活動費助成金団体が決定しました

杉並区社会福祉協議会では「地域福祉活動費助成金」を通して、地域活動を資金面でも応援しています。
助成金は、地域の方からの善意で集まった歳末たすけあい運動募金が原資になっています。
杉並で集まった募金で杉並の地域福祉活動を元気にしていきます。

令和5年度の決定団体はチャレンジ応援助成11団体、定例活動活性化助成7団体、全体で18団体となりました。
今後、団体の活動の様子もボランティアセンターの情報紙「ボラン・て」やホームページでお伝えしていきます。

◆助成金は2種類あります。【チャレンジ応援助成】・・・新規の活動を応援するための助成金
【定例活動活性化助成】・・・既存の活動を活性化するための助成金

【チャレンジ応援助成】 助成金合計：2,903,000円

団体名	事業名
①こどもと笑顔with	杉並つながるミーティング
②風のとびら	自死遺族ケア事業 フレディの会
③音楽とお話の会 「レッシェルン」	レッシェルン みんなのコンサート
④きょうだい児と家族の応援団 にじいろもびーる	きょうだいさんの広場
⑤和泉第二町会	和泉防災コミュニティ顔の見える街づくり～ユニバーサル野球を楽しもう～
⑥杉並・ワーカーまちの縁がわ上井草	すてっぴ&すきっぴ まちのほっとスペース推進事業
⑦みんなで子育てぴかふろーる	「助産師デイ」にあつまろう
⑧NPO法人 サイン	子どもの食育教室事業『サイン食育Labo』
⑨特定非営利活動法人 みかんぐみ	文化活動を通じた重度障害児・者と一般区民との交流プロジェクト
⑩特定非営利活動法人 ゆるゆるma～ma	みんなのいばしょ 東原Pタイム
⑪視覚障害者支援総合センター就労継続支援B型チャレンジ	バリアフリー上映会『こころの通訳者たち』

【定例活動活性化助成】 助成金合計：767,000円

団体名	事業名
①フリーランス杉並家族会	ひきこもり・発達障がい地域支え合い事業
②NPO法人こだまの集い	育児と介護の両立について語ろう！
③認定NPO法人ももの会	だれでもカフェ～ももふらっと
④ふらり赤い椅子	ふらり赤い椅子プロジェクト
⑤宮前まちづくりの会	宮前まちづくりの会（地域貢献活動）
⑥『上井草結いの会』	親子で農業体験
⑦杉並家族会	勉強会（講演会）



杉並のボランティア情報紙「ボラン・て」

発行：社会福祉法人 杉並区社会福祉協議会
杉並ボランティアセンター

〒167-0032 杉並区天沼3-19-16 ウェルファーム杉並4階
TEL: 03-5347-3939 FAX: 03-5347-2063

メール: info@borasen.jp ホームページ: https://borasen.jp/

うえるくん
杉並社協のイメージキャラクター

開所時間：火～土曜日
8:30～17:00

* 祝日・年末年始はお休みです。



情報紙「ボラン・て」は、次の区内各所にも置いてありますのでご利用ください。区役所・区民集会所・区民事務所・地域区民センター・一部のゆうゆう館・図書館・駅スタンド（区内 JR、地下鉄丸の内線など）・他